

病棟看護師編

社会医療法人 駿甲会

コミュニティホスピタル甲賀病院

その人らしく生活できる
ように支えています

患者さんの思いに
寄り添っていくんだね



佐野 絵梨花 さん
A4 病棟勤務 勤務

患者さんが回復する姿に
やりがいを感じる

患者さんの一番近くで 24 時間ケアを行う

患者さんにとって、治療を行う場であると同時に生活の場でもある「病棟」。患者さんの一番身近にいる看護師は、身体と心の両方をケアしています。病棟で働く佐野さんにお仕事の魅力を聞きました。

看護師の役割は、「診療の補助」と「療養上の世話」の2つに大きく分かれ、病棟で働く看護師は、24時間・交代制で患者さんの入院生活を支えています。「診療の補助」とは医師の診察や治療がスムーズに進むように、専門的な知識・技術に基づいてサポートすること。「療養上の世話」とは、食事、排泄補助、入浴介助、体位交換など入院生活を快適に過ごせるように援助を行い、患者さんが本来持っている力を引き出す関わりを大切にしています。

私が勤務する病棟は、整形外科と内科の混合病棟です。朝は、夜勤の看護師から申し送りを受け、患者さんの情報共有を行います。次に担当する患者さんの検温や清拭などの清潔ケア、



ベッドサイドで電子カルテを確認。
患者さんが心地よく過ごせるケアが
心がけています

その後、点滴や創部の処置、患者さんの手術前後の看護を実施。手術を受ける患者さんが多く入院されているので、安全に手術を行うことができ、手術後のリハビリテーションをスムーズに進められるように、医師や理学療法士などの職種と連携しています。辛い痛みで動くことができなかった患者さんが、手術やリハビリを乗り越え、回復していく姿を見ることが一番のやりがいです。

**不安を取り除き、安心感を
与えられる看護師を目指して**

私が大切にしていることは、患者さんの不安を取り除き、安心感を与えられるような存在になること。患者さんの中には、看護師さんは忙しそうだからと遠慮してしまう方も少なくありません。患者さんを一番身近で支えている看護師だからこそ、患者さんの表情や訴えを見逃さず、日々のコミュニケーションを積み重ねて、信頼関係を築いていくことが重要です。担当した

Hospital Data

〒425-0088
静岡県焼津市大覚寺 2-30-1
TEL 054-628-5500 (代)
【担当 / 看護部】
URL <http://www.sunkohkai.or.jp/nurse/index.html>

Hospital Information

地域の方々のニーズに応じて成長し、幅広い病棟機能を備えてきた当院。「急性期でバリバリ働きたい」「地域に根ざした看護に取り組みたい！」など様々なキャリアニーズに対応しています。「あなたらしい」看護やキャリアを見つけられる当院と一緒に成長しませんか？
奨学金制度も実施しています。



患者さんの日々の病状を把握し、痛みや苦しさなどの状態変化を見逃さないよう全身状態を確認しています

患者さんから「痛みで苦しいときに、側で寄り添ってくれて本当に嬉しかった」と感謝の言葉を頂いたときは、患者さんを支えることができた喜びで胸がいっぱいになりました。

看護学生のころから「人間らしさを忘れない看護師」になることが私の目標です。患者さんは、慣れない入院生活の中で、心身ともに苦痛を抱えています。「あなたがいてくれてよかった」と思ってもらえる看護師になれるように、一人ひとりの患者さんの思いに寄り添い、人としての感性を大切にしながら看護を実践していきたいと思っています。

救命救急センター 編 長崎大学病院

救急患者を受け入れる 命を救う最前線

長崎大学病院救命救急センターは、「三次救急」施設として、心肺停止、重度外傷、脳卒中、心筋梗塞など生命の危機に直面する重症患者を365日24時間体制で受け入れています。救急看護認定看護師として活躍する本田さんにお話を聞きました。

24時間体制で高度な医療を提供
地域の救命率の向上に努める



本田 智治 さん
高度救命救急センター
救急看護認定看護師

元気になった
患者さんの姿が
一番の励みです!

高度な知識や技術が
必要とされているんだね



当院の救命救急センターでは、年間約5,000人の患者さんの診療を行い、そのうち約2,400件が救急車で来院します。重症多発外傷や脳卒中、急性心筋梗塞など重篤な患者さんに対応し、24時間体制で高度な治療を提供しています。また、2012年からドクターカーの運行を開始しました。長崎市は斜面地が多く、救急車が傷病者の住宅に横付けできない場所もあるため、医師と看護師が直接現場に出動し、地域の救命率の向上に努めています。

救命では一度に多くの重症患者さんを限られた人員で治療しなくてはなりません。看護師は優先順位を考え、蘇生

に必要な器具や薬剤の準備、人工呼吸や生体モニターのモニタリング管理など診療の補助を担当しています。生命の危機的状況の中で、一つのミスや見落としが患者さんの命に関わることもあるため責任は重大です。救命の看護師は、迅速な判断力や高度な知識、確実な救急処置が求められます。また、生死の境にある患者さんと対峙する機会が多く精神的な衝撃も大きいので、自分自身の適切なストレス対処能力も必要です。

救急看護認定看護師として
専門的な知識・技術を広める

大変な仕事ですが、救命で担当した患者さんが無事に退院や転院を迎える姿を見ると、やりがいを感じます。大きな事故で背髄損傷となり、下半身麻痺となった患者さんが、リハビリを行う病院へ転院されました。その後、歩けるまで回復され、会いに来てくださったことは、今でも心に残っています。

私は、2017年に「救急看護認定看護師」というスペシャリストの資格を取得しました。認定看護師とは、熟練した看護技術及び知識を用いて、看護を必要とする患者さんに、水準の高い看護実践することが使命です。突然の怪我や病気で生命

の危機に直面している患者さんを一人でも多く救命し、元の生活に戻れるように支援しています。また、院内の看護師を対象に、急変時対応や外傷初期看護などの教育・指導に携わり、臨床現場だけではなく、教育的立場でも看護の質向上に寄与しています。大学院へ進学して、救急看護の発展に向け、看護研究活動を行うことも目標の一つです。

急変時対応や外傷初期看護などの教育・指導に携わっています



ドクターカーで出動する本田さん。カバンの中には、現場処置に必要な物品・薬品が効率良く格納されています

Hospital Data

〒852-8501
長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
TEL 095-819-7200(代)
URL <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/>

Hospital Information

私たちは、看護専門職として自己研鑽しながら、人間性豊かに優しさと思いやりをもって、温かみのある療養環境の提供を目指しています。歴史と文化の街長崎で、患者さんに寄り添う看護を共に実践しましょう!

助産師 編

岩手県立釜石病院

新しい命の誕生に寄り添い、
命の大切さを伝えていきます

産婦さんと赤ちゃんに
寄り添っていのちのねた



佐藤 紗椰香 さん
3病棟勤務
助産師

出産から育児まで 幅広くサポート

助産師は、分娩介助はもちろん、出産の前後にわたって妊婦さんをサポート。安心な出産・育児へと導くために、さまざまなケアを行っています。

助産師が主体となりケアする 院内助産システムを導入

私が中学生の時、母が帝王切開で双子の弟を出産しました。いつも強くて弱音を吐かない母が不安な表情で入院しましたが、出産後「助産師さんが親身になってくれて安心できた」と感謝する姿が印象的でした。その後、看護学校へ進学。実習で初めて分娩に立ち合う機会があり、命の誕生に心から感動したことがきっかけで助産師を目指すことになりました。

私の勤務する釜石病院では、助産師が主体となり妊婦健診や分娩、産褥管理、育児相談という継続的なケアを行う院内助産システムを導入しています。日本に古くからある助産院や自宅でのアットホームな「お産」の良さと、医療設備の整った病院内での安全性を確保した「分娩」



産後は、母乳育児や沐浴の指導、新生児の哺乳、褥婦と新生児の状態観察などを行います

という両方の良さを兼ね備えたシステム。正常な妊娠経過を迎える産婦さんとご家族に対して、助産師と看護師が連携して、妊娠、分娩、産褥のケアを担当し、快適で満足できる出産をサポートしています。

新しい命の誕生に寄り添い 女性の一生をサポートする

お産は必ず痛みが伴うもの。「どつやつたら上手に産めますか」「赤ちゃんは苦しくないですか」など、産婦さんは自分が苦しい状況でも産まれてくる子どものことを一生懸命考えています。陣痛の痛みを乗り越え、新しい命を生み出す感動的な瞬間に寄り添い、サポートすることは助産師としての醍醐味ですね。お産が終わる「担当が佐藤さんで良かったです」、「助産師さんが良かったら、頑張れなかった」など感謝の言葉が励みになります。妊娠・出産・育児・更年期などにおける、女性のライフイベントや性に

寄り添うことも助産師の役割です。幸せなお産だけでなく、死産や流産など悲しい経験をする女性とご家族を支えることもあります。そのような体験を踏まえ、これから大人になっていく子供たちへ、命の大切さを伝える出前授業などの活動も行っています。

今後も、助産師として経験を積みながら、地域の皆さんが安心して妊娠生活、出産、育児を行えるようサポートしていきます。そして、性教育などを通して、命の大切さを伝えながら、助産師という職業を発信していきたいです。



産科以外の患者さんも入院している混合病棟なので、看護師・助産師の役割を発揮して動いています

Hospital Data

〒026-8550
岩手県釜石市甲子町第10地割483-6
TEL 0193-25-2011 (代)
【担当/看護科】
URL <http://www.kamaishi-hp.com/>

Hospital Information

患者さん一人ひとりがその人らしい生活を送れるように、患者さんご家族の心に寄り添い、医療と生活の面から患者さんを捉えて看護を提供しています。専門職業人として必要な看護実践能力を養い、個人が目標とする看護師像へ成長できるようにサポートしています。